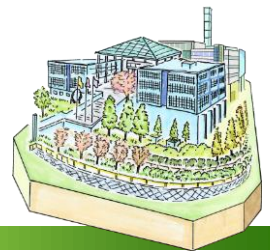


しみんけんきゅうニュース



発行:(公財)千里リサイクルプラザ 研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>



第16回くるくるフォーラム開催 「リユース食器の活用」

～祇園祭・天神祭から学ぶ～
H30.3/10 千里山コミュニティセンター

【目次】 P2 委嘱式

P3 新年度スタート 主担研究員挨拶

P4-5 エコイベント PT からの発信

P6 くるくるプラザ環境スクール開校

P7 アースフェスタ

P8 くるくるフォーラム

P9 主な年間予定 P10 5・6月の予定

野津様からは
天神祭の取組の報告を
行いました。



フォーラムに先立ち
温暖化防止動画コンテスト
表彰式が行われました



当PTからは
これまでの
経緯の報告を

太田様からは
取組と海外事情
の説明を

三輪先生を
交えてパネル
ディスカッションを
行いました。



H30年度 市民研究員委嘱状交付式 開催 H30.4/7 プラザ講義室

理事長より委嘱状
が
交付されました

委 嘱 状

千里 花子様

公益財団法人千里リサイクルプラザ研究所
市民研究員を委嘱します
期間は平成31年3月31日までとします

平成30年4月1日

公益財団法人 千里リサイクルプラザ
理事長 西川俊孝 印



新市民研究員の挨拶

職員の紹介

桜の木の下で記念撮影を
行いました。



今年度も
ごみ減量と
環境問題に
取組みます



平成30年度 市民研究員 委嘱式

エコ体験PT 徳元 英雄

えてください。

平成30年4月7日(土)午後1時より千里 リサイクルプラザにおいて平成30年度の委嘱状交付式が行われました。

西川理事長より土屋研究所所長、三輪主坦、内田主坦、小幡主坦、黒田主坦、そして41名の市民研究員の全員に委嘱状が手渡されました。また、新市民研究員の小南氏の紹介とご本人の自己紹介がありました。

西川理事長からは今後10年間を見据えた研究所のあり方について、研究所検討会議が設置され、協議が重ねられたのち、皆さんが参加して平成29年7月中旬には、実践交流会の場で検討され、29年10月研究所検討会議報告書がまとまり、11月の理事会で報告されたことを話された。

平成30年は検討報告書の内容を具現化していく年となります。

4月1日付けで市民研究所の体制は、土屋所長と副所長に小幡氏が就任され、山中さんは臨時職員として続けて勤務されるが、国本さんは退職された旨の報告がありました。

チャレンジの年となる今年は4月から9月までの期間で「くるくるプラザ環境 school」が開校されます。この環境スクールをはじめとして、市民研究所は幅広い研究所として将来的に市民を巻き込んださまざまな活動が求められています。このことから、現在在籍する、われわれ市民研究員の役割はますます重要となってきます。

山口局長からは、4月1日からのプラザ事務局の新体制とスタッフの紹介がありました。新しく加わったメンバーはお二人で、男性の下村さんと女性の荻野さんです。お二人とも市民研究所の担当ですので、お顔とお名前を早く覚



市民研究員 委嘱式

続いて全員参加による、平成30年度第1回プロジェクト代表者会議が行われました。冒頭土屋所長よりいろいろ心配をおかけしたが、治療完了で医師からOKが出た旨の挨拶がありました。

今回は土屋所長をはじめ、全員の主坦研究員の先生方に出席いただき、一言ずつご挨拶いただきました。

そのあと各プロジェクトより、平成30年度の研究・実践の抱負が発表され、事務局からは研究運営方針・年間事業計画等の説明・連絡事項がありました。

最後に満開の桜の下で、全員の記念撮影をして、気持ち新たに平成30年度の活動をスタートしました。



山口事務局長からプラザ職員紹介

副 所 長 に 就 任 し て

立命館大学特任教授 主担研究員 小幡 範雄



本年4月から千里リサイクルプラザ市民研究所の副所長に就任致しました。さて、副所長の任務・役割とは

何であろうか。所長を補佐することは分かるのですが、ところで所長はどんな仕事をされていたのか私は良くわかっていないのです。情けない話です。所長に聞けばいいのですが、これがまだできていません。とりあえず主担研究員の私が何をしていたのか振り返ってみたい。

今から4年前に初めて主担研究員に委嘱されました。取り敢えず、私は手作りおもちゃと環境PTとエコ体験PTの顧問となったが、実質はほとんど活動できていません。大学の研究室で1回打ち合わせを実施し、あとはPT研究実践交流会への参加と意見交換くらいです。また、他には大学での講義の一環として基礎演習でPTの方々にお話をさせて頂き、学生と意見交換の機会を設けました。2016年度には政策実践研究プロジェクト・フォロワーという講義で、3R戦略—千里リサイクルプラザ市民研究員制度の活用という特定プロジェクトを立ち上げ、研究所からも応援に来て頂きましたが応募がなく閉講しました。残念であった。今の学生には3Rは興味がないのか、もう少し検討すべきだったか

もしれないと感じたと思います。3年間でPT代表者会議には1、2回付録のような感じで参加しただけで、情けない限りでありました。運営委員会には大体参加したように思います。昨年度は10回ほど開催された研究所のあり方、機能、役割を再検討する千里リサイクルプラザ研究所検討会議には半分程度参加しました。今年度から運営調整会議にも設置要項に従って参加するようになりました。

私の過去3年間の経験を紹介してきましたが、やはり主担研究員とはどのような機能を持ち、どれ位の頻度で何を活動支援すればいいのかを実践の中からももう少し具体的レベルで考えていくことが大切であると思いました。新たな市民研究所の方向も示されました。今後は副所長という仕事もどのようにこなしていくのが好いか皆さんと共に走りながら考えていきたいと思っています。至らない点多々あるかも知れませんがよろしくお願いします。



エコイベントプロジェクトチームからの発信

イベントのすすめ

～イベントのごみゼロ大作戦～

楽しいイベントの後にはごみの山。こんな経験はありませんか？
私たちは、イベントで出るごみを減らす活動「イベントのごみゼロ大作戦」を
2002 年から続けています。ごみの減量をしながら、大人も子どもも
環境を考えるきっかけになることを目指しています。
さあ、皆さんも環境にやさしいエコイベントをやってみましょう！



五月が丘地区夏まつり

1. 「イベントのごみゼロ大作戦」とは？

エコイベントにするには、まずはごみの減量から！

- ① ごみの減量・地球温暖化防止・資源の節約のために、
イベントから出るごみを3Rの方法で減量する取り組みです。
- ② イベントの参加者自身が、ごみの分別を行う環境学習の場を提供します。
イベントには多くの市民が参加するので、ごみ減量の啓発活動としても大変大きな意義があります。

2. 「イベントのごみゼロ大作戦」の取り組み方

(1) リサイクル (Recycle) 再生利用—資源にする

- ・ごみ箱を撤去し、ごみ回収コーナーやステーションを設けます。
- ・回収品目ごとの回収箱を用意し、分別回収する。
- ・ごみは来場者が回収ステーションに持ってきて分別します。
- ・スタッフが立って、声かけ、誘導します。
- ・リサイクルする品目を増やす。
(ペットボトル、キャップ、割り箸、紙など)
- ・エコ容器を使用し、資源化の回収ルートにのせる。



吹田まつり江坂会

(2) リユース (Reuse) 再使用 —くり返し使う

- ・リユース食器を利用する。
洗って繰り返し使える食器です。容器ごみが出ません。



リユース食器

(3) リデュース (Reduce) 発生抑制—ごみを出さない

- ・マイ箸、マイカップ、マイ食器を持参する。
イベントの来場者が、各自食器を持って来る取り組みです。



マイ食器

3、「イベントのごみゼロ大作戦」マニュアル

(1) イベントの前に決めること

- ①リサイクルステーションの設置場所と数
- ②分別するごみの種類と引き取り先の検討
- ③スタッフの確保
- ④周知の方法—チラシ、案内看板、場内放送
- ⑤準備する物

長机、看板・旗（のぼり）、回収箱、バケツとざる、表示札、ポリ袋。

⑥あると便利なもの

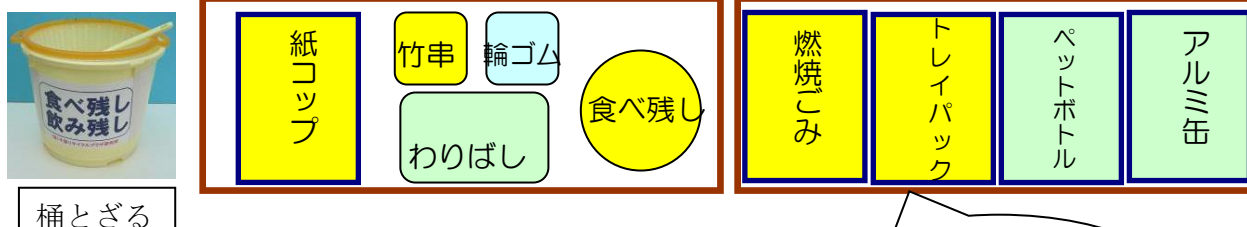
テント、洗い桶

(2) スタッフの仕事

ステーションには、必ずスタッフが立ちましょう。

① 当日の準備—ステーションを作る

★用具類の並べ方（例）



② イベントが始まってからの仕事

来場者自身が分別するよう、声かけし誘導する

③ イベント終了後の仕事

リサイクルするものは、それぞれ回収先に出す。

トレイやカップは
積み重ねると容量は
1/5 から 1/10 に
減ります。



リユース食器利用の手引

使ってみま
せんか？

＜リユース食器の利点＞

- ①容器ごみが出ません→ごみの減量になります。
- ②ごみにならないため、二酸化炭素の排出やエネルギーの消費が少なくて済み、地球温暖化防止や資源の節約になります。
- ④使い捨てのライフスタイルを見直すきっかけになります。

（公財）千里リサイクルプラザの貸出リユース食器



◆貸出料：カップ、食器は10円～20円。箸、スプーン・フォークは2円
弁償金：紛失破損がある場合は、弁償金が必要です。

くるくる環境スクール始まる

手作りおもちゃと環境PT 茶園 征也

平成30年4月7日（土）11時から千里リサイクルプラザの講義室において、「くるくるプラザ環境スクール」開校式が開催されました。

入学するのは12名、開校式には11名の参加でした（欠席1名）。運営スタッフの司会により式は始まり、まず市民研究所の土屋正春所長が開校の挨拶をされました。



我々は次の世代への受渡し役を担っていること途上国が今の先進国の後を追

っていること等を考えるとき、ますます環境問題への取り組みが重要であることを力説されました。また、このスクールでの勉強を通して、「知識のすそ野を広げる」「知り合いになる」「手をにぎり合う」「ゆるい結合をもつ」を期待したいと述べられ、多様なメンバーが揃ったので、広く、広く、楽しく、楽しく学んでほしい挨拶されました。

続いて5人のスタッフの自己紹介、そして受講生の自己紹介になりました。

以下に、その一部を紹介します。

- ・シニア向けの勉強会に参加していたが、環境関係の普及活動に参加したい
- ・会社現役だが、週末を楽しく充実させたい
- ・地域との結びつきを深めたいし、他の受講生

と交流したい

- ・家庭では大型ごみ扱い。自己を再生しチャレンジしたい
- ・「環境」はピンとこなかったのでシニア自然大学で学んだ。より勉強して生活を見直したい
- ・70歳となり、もう少し勉強したい
- ・「おもちゃ病院」で活動している。改めて勉強したい
- ・魚関係の仕事をしていたが、70歳になって自然とのかかわり等を勉強し行動したい
- ・市報でスクールを知り、チラシの内容が良かったので参加した
- ・豊中在住、吹田在勤。豊中にはないものを知る先遣隊として参加した
- ・花が好き、粘土で作る花を楽しんでいる。出会いを楽しみたい

続いて安田主幹より市民研究所の紹介がありました。

- ・くるくるプラザ
- ・市民研究所（6つのプロジェクトチーム）
- ・主管する事業（環境学習発表会など）

最後に講座内容の、特に前半の第5回までの紹介がありました。

楽しいメンバーが集まり、今後の活躍が楽しみだという司会者の挨拶で閉会しました。



受講生と親しく面談する土屋所長

ストップ温暖化 くるくるアースフェスタ 2018

効果的な施設案内PT 下村 敬三

日時 平成30年2月18日(日)

10:00-16:00

場所 ららぽーとエキスポシティ光の広場

主催 吹田市

受託先 (公財) 千里リサイクルプラザ

協力 アジェンダ21すいた

昨年に続いて、2回目のエキスポシティでのイベントであった。日曜日の買い物客を相手のイベントで、何人参加していただけるのか予想がつかなかったが、今年は、特に体験コーナーへの参加が予想以上に多かった。

＊くるくるプラザ関係体験各コーナーへの参加者は

- ・紙すき体験(はがき) 108人
- ・手作りおもちゃ体験(ぶんぶんゴマ、UFOぶんぶんゴマ、ストロートンボ)

82人

- ・風呂敷の包み方体験 32人
 - ・布体験(フェルト工作) 59人
 - ・木工体験(サイコロ工作) 50人
 - ・ガクロハ(廃油キャンドル作り) 42人
 - ・GEC S(ポップアップカード作り) 34人
- 体験コーナー合計 407人

- ・原始力発電自転車コーナー

- ・木育コーナー

などのコーナーにもたくさんの子どもたちが遊んでいた。

＊研究所パネル展示 各PTのパネル説明

＊工房パネル展示

午前、午後組に分かれてパネル説明を行った。

＊アジェンダ21すいたによる、「私のエコ宣言」Pでは、各自のエコ宣言をパネルに書き、写真を7枚、又ステージの画面にて放映した。約200人の宣言があった。

ほかにも、創作人形劇団「せせくらせ」による人形劇にもたくさんの子どもたちが見ていた。

親御さんも一緒に参

加であった。

吹田市、後藤市長の環境に関する挨拶、藤木市議会議員も、環境に関する挨拶があった。

エキスポシティのど真ん中の、「光の広場」でのイベントで、東西

の通路からのお客 <後藤市長・藤木市議会議員>

さんの参加であり、ほとんどが親子連れでの参加者であった。

体験コーナーによっては、一時、待ってもらい時もあり、担当者は忙しい一日であった。



〈いろいろな体験コーナー〉



力、市民研究員募集を兼ねたパネル展示には、なかなか関心が集まらず、募集の効果はあまりなかった。しかし全般的には、くるくるプラザの周知効果は上がったと思われる。

毎回のイベント開催により、プラザの認知度向上と、市民研究員の増加の活動に努力せねばと思われる。



第16回 くるくるフォーラム

エコイベントPT 石川 智子

3月10日(土)・千里山コミュニティーセンター多目的ホールに於いて「リユース食器の活用～祇園祭・天神祭から学ぶ～」と題して第16回くるくるフォーラムが開催されました。

フォーラムに先立ち、地球温暖化防止動画コンテストの表彰式を行いました。最優秀賞の西井紘輝氏、優秀賞のチームで作られた「Tea stand kuukuma」さんのお二人に西川理事長より表彰状と副賞が手渡されました。

最初に(公財)千里リサイクルプラザ西川理事長より開会の挨拶があり、祇園祭・天神祭、この二つの祭りを合わせた来場者数は、300万人以上もあり、いかに規模が大きい祭りであるか?この祭りの華やかな部分と裏の部分、つまりごみ問題など、環境を考えた話をしていただくで紹介されました。

最初は私達エコイベントPTの発表です。「リユース食器貸し出しの歩み」と題して山田勝典市民研究員が活動の紹介をしました。自分たちでやってきたことでも改めて順を追っていくと忘れていたことを思い出すことが出来、これからもしっかり活動を続けなければという気持ちになりました。



次に(「天神祭ごみゼロ大作戦2017」めざせ!ごみゼロ天神祭)と題して、天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会、野津岳史様が講演してくださいました。天神祭では前年度

にごみの組成調査を行い、今年度初めて天神祭でのリユース食器導入とエコステーション設置に取り組まれ、祭り終了後の会場内は散乱ごみも無く、

回収できたとのことで、これは各メディアにも大きく取り上げられていました。



続いてNPO法人地域環境デザイン研究所 ecotoneの太田航平様が「リユース食器活用～祇園祭から京都市との連携」と題してお話してくださいま

した。太田様のお話は、そもそもなぜごみが多いのか?祭り会場に出るごみ、それは飲食の手段でカップや容器が必要であり、来場者は捨ててしまうその容器、つまりごみも一緒に買わされているのだと話されました。ごみになるもので販売しない。ごみになる様な物はなるべく選ばない事、とも話されました。リユース食器利用が最善ではないかもしれませんが、環境に負荷を与えない方法には間違いないでしょう。

講演ののち、三輪信哉主担研究員のコーディネートのもと、講師の野津様、太田様、それに



エコイベントPT代表の大澤浩子市民研究員によるパネルディスカッションが行われました。

会場の参加者の質問用紙をもとに活発な意見の交換が行われ、祇園祭や天神祭でされている実践への理解が深まり、私たちがめざすべき方向性の示唆がいただけたと考えます。



市民研究員 1年間の活動（平成30年度）												
内容・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定例会	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
代表者会 原則第一土曜	※7 委嘱式	※12	※2	※7	※4	※1	※6	※4	※8	※5	※9	※2
機関誌発行		※		※		※		※		※		※
市民研究員 研修講座		※12				※1	※6			※5		
交流会・報告会						※8			※8			
ごみゼロワーク								※17				
施設見学	※ 学校関係	※	※		※2見学 ツアー	※	※					
環境学習支援	※ 後半から	※	※	※		※	※	※	※	※	※2 学習発表会	
環境スクール	※7開校式 ※28エコ・クラ キング	※19 アビビル見 学	※16 おもちゃの 制作	※14 黒川自然散 策	※4 PT体験1 ※18 PT体験2	※2 環境問 題講演会 ※8開校式						
出前講座 (環境講座)	随時											
講演会・講座						※2 環境問題講 演会			※2 吹田環境セ ミナー			※9 くるくる フォーラム
研究調査活動	年間を通じて					予算書 作成				次年度 計画書		
	報告書 作成		報告書 発行									

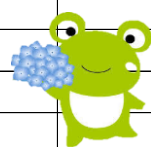
市 民 研 究 所 5 月 の 予 定

日	曜	催 し	時間・場所	備考
1	火			
2	水			
3	木	憲法記念日		
4	金	みどりの日		
5	土	こどもの日		
6	日	くるくるエコキッズフェスタ	10:00～15:00	くるくるプラザ広場 ●
7	月	休館日		
8	火			
9	水			
10	木			
11	金			
12	土	第2回代表者会議 ニュース編集企画会議	10:00～ プラザ講義室1	主担・代表者 事務局
		エコ体験PT定例会	12:00～ プラザ研究室	エコ体験PT
		第1回市民研究員研修講座	13:30～15:00 プラザ講義室2	主担・市民研究員・ 事務局
		ごみ調査・研究PT定例会	15:00～ プラザ研究室	ごみ調査・研究PT 定例会
13	日	エコイベントPT定例会	9:30～ プラザ研究室	エコイベントPT
14	月	休館日		
		市民とお店をエコでつなぐ PT定例会	10:00～ ゆめつながり館	市民とお店をエコ でつなぐPT
		環境学習支援()	14:40～15:25 高野台小学校	市民とお店をエコ でつなぐPT
		環境学習支援()	14:40～15:40 豊津第一小学校	手作りおもちゃ と環境PT
15	火			
16	水	環境学習支援()	13:30～14:30 佐井寺小学校	市民とお店をエコ でつなぐPT
		環境学習支援()	14:20～15:20 吹田第一小学校	エコ体験PT
		第1回研究運営委員会	10:00～12:00 立命館大学	主担・執行役員 事務局
17	木			
18	金	環境学習支援()	14:15～15:15 東山田小学校	手作りおもちゃ と環境PT
19	土	環境スクール	10:00～11:30 アサヒビール工場	
20	日			
21	月	休館日		
		環境学習支援()	14:45～15:45 千里第二小学校	エコ体験PT
22	火			
23	水			
24	木			
25	金			
26	土			
27	日			
28	月	休館日		
		環境学習支援()	14:40～15:25 千里第一小学校	市民とお店をエコ でつなぐPT
		環境学習支援(エコゲーム)	14:35～15:35 藤白台小学校	エコ体験PT
29	火			
30	水			
31	木			

は、資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。

市 民 研 究 所 6 月 の 予 定

日	曜	催 し	時間・場所	備考
1	金			
2	土	第3回代表者会議	10:00～11:30 プラザ講義室1	主担・代表者・ 事務局
3	日	千里エコフェスタ	10:00～15:00	くるくるプラザ広場 ●
4	月	休館日		
5	火			
6	水	環境学習支援	13:30～14:30 佐井寺小学校	市民とお店をエコ でつなぐPT
7	木			
8	金			
9	土			
10	日			
11	月	休館日		
		環境学習支援()	14:40～15:40 豊津第一小学校	手作りおもちゃ と環境PT
		環境学習支援()	14:40～15:25 千里第一小学校	市民とお店をエコ でつなぐPT
12	火			
13	水	環境学習支援()	13:30～14:30 千里丘北小学校	手作りおもちゃ と環境PT
14	木			
15	金			
16	土	環境スクール	10:00～12:00 プラザ木工工房	
17	日			
18	月	休館日		
		環境学習支援()	14:40～15:25 高野台小学校	市民とお店をエコ でつなぐPT
19	火			
20	水			
21	木			
22	金	環境学習支援	14:15～15:15	手作りおもちゃ と環境PT
23	土			
24	日			
25	月	休館日		
		環境学習支援()	14:40～15:25 千里第一小学校	市民とお店をエコ でつなぐPT
		環境学習支援(紙すき)	14:35～15:35 藤白台小学校	エコ体験PT
26	火			
27	水	環境学習支援()	14:20～15:20 吹田第一小学校	エコ体験PT
28	木			
29	金			
30	土			